



# 学校だより

(5月号) 令和5年4月28日発行

<http://shibiraki-e.saitama-city.ed.jp/>

## 【学校の教育目標】

- ◎ 夢 (ゆめ) にむかって ともに学びあう学校
  - ・すすんで勉強する子
  - ・自分からあいさつのできる子
  - ・仲よくたすけあう子
  - ・じょうぶな子

《今月の生活目標》 時間を守ろう

## サクラソウ、関東タンポポなどの観察を通して

～実物を見ることの大切さ～

校長 白石 徳一郎

新緑の候となりました。暑い日も多くなってくると思いますので、体調管理に気を付けながら、5月も楽しく学校生活を過ごしてほしいと思います。

さて、本校のサクラソウは4月上旬から中旬頃が見頃でしたが、今は花期も過ぎて、元気な葉が青々としています。以前、サクラソウの開花時期は2週間程度と紹介しましたが、ソメイヨシノが一斉に開花するのは違い、株によって開花時期がずれるので、結果的には1ヶ月程度、花を楽しむことができました。一方、田島ヶ原サクラソウ自生地のサクラソウは、他の草花の成長が速く、背丈の高い草花に隠れてしまうので、花を楽しめる時期が短かったようです。4月12日(水)に4年生が田島ヶ原サクラソウ自生地の見学に行った時には、まだ、背丈の伸びた草の中に小さなサクラソウを見つけることができましたが、**学校でもサクラソウを栽培していましたので、花の咲く期間などがわかり、より身近に感じることができました。**



また、新開小学校の西側にある堤(桜並木)にタンポポがたくさん咲いていますが、**関東タンポポという在来種だということ**で調べてみました。まず、図鑑で西洋タンポポと関東タンポポの違いを調べると、花弁の下のがくの外片が反り返っているのが西洋タンポポで、反り返っていないのが関東タンポポですが、近年は西洋タンポポと関東タンポポの雑種も増えているようです。実際に観察してみると、新開小学校の校庭の西側に隣接している畑の周りに咲いているたくさんのタンポポは関東タンポポのようでした。また、新開小学校の北門に面した道路を西に歩いて、堤に突き当たる一角に咲いているタンポポは、**がくの外片が反り返っていましたが、図鑑の関東タンポポほどの反り返りではないので、雑種のタンポポかもしれません。**畑の周りの関東タンポポの群生と北門の近くの雑種と思われるタンポポの群生は20mくらいしか離れておらず、近くのタンポポにも違いがあることがわかりました。関東タンポポと西洋タンポポの違いも写真を見て知るだけでなく、**実際に実物を見て確認することで本当にわかったという実感が湧きます。**タンポポを見た時に確かめてみるのも面白いでしょう。



校庭西側に隣接する畑の周りに咲くタンポポ

北門を出た左側の堤の一角に咲くタンポポ

4月27日(木)には、6年生が桜環境センターのビオトープに体験学習に行きました。約40分間、みんなで草花の観察や生き物さがしをして、ニホンアマガエルやトウキョウダルマガエル、シオカラトンボなどたくさんの生き物に出会うことができました。シロツメクサの葉についているテントウムシの蛹を見つけた子もいました。職員の方に生き物の解説をしていただき、西洋タンポポと関東タンポポも実物を見て、見分け方を教えていただきました。**子どもたちは、興味深く観察し、自然の草花や生き物に親しむことができました。**



子どもは知的好奇心をもっています。直接観察することで、興味・関心をもつこともよくあります。今は調べればすぐに知識が得られる便利な時代になりましたが、**実物を見るのが大切です。**身近な植物や昆虫についても、図鑑等で調べ、楽しみながら「**学びに向かう力**」を育ててもらえたらと思います。この季節には、いろいろな草花や生き物を観察するのも楽しいでしょう。(参考文献：タンポポハンドブック 保谷彰彦 著)